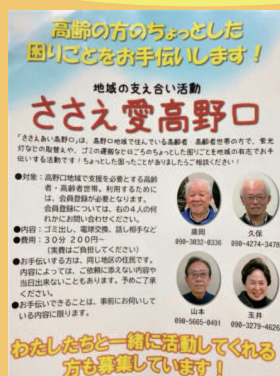


橋本市で まちづくり いっしょに しませんか？

たとえば...

第二層生活支援協議体



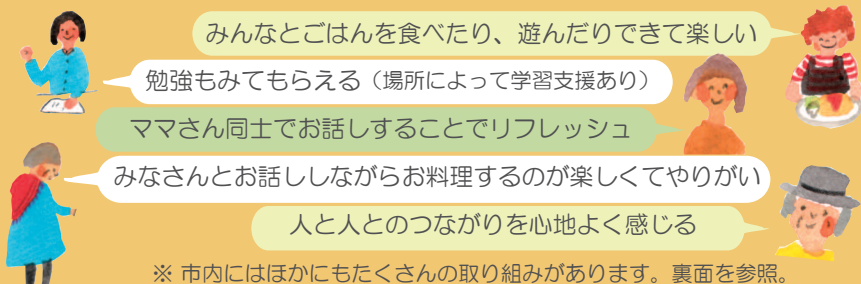
橋本市では日常生活圏域ごとに第二層生活支援協議体を設置し、地域住民のボランティアが中心となって高齢者の生活支援、介護予防等の地域福祉の充実を目指して活動しています。

例えば、高野口地域の「ささえ愛高野口」では高齢者世帯の方で、電球の交換、ゴミ出し、話し相手など、日ごろのちょっとした困りごとを地域の有志でお手伝いする活動をしています。お手伝いをする方も楽しくやるのが一番と無理なく、和気あいあいと活動しています。

子ども食堂

(いろいろな形態の子ども食堂があります)

子ども食堂は食事を提供するだけではなく、地域交流の拠点ともなっています。



橋本市の基本情報

橋本市は遠い万葉の昔から街道がひらけ交通の要衝として、都より高い文化を受け入れ栄えてきました。この地には豊かな自然、紀の川の清き流れ、誇るべき伝統が息づいています。

総人口数 61,381 人 2021年5月31日現在
(女性 32,406 人 男性 28,975 人)

高齢化率 33.2% ★全国平均より 17 年早い！

■人口と高齢化の推移■

10 年後には市民 4.2 人に一人、20 年後には 3.6 人に一人が 75 歳以上になる予想です。それに反して、生産年齢(15 歳～64 歳)人口割合は 55.3%から 20 年後には 47.1%に減少することが予想されています。

	総人口(人)	高齢化率(%)	75 歳以上(人)	75 歳以上
2020 年	60,483	33.2	10,007	6 人に 1 人
2030 年	53,457	38.8	12,743	4.2 人に 1 人
2040 年	45,617	43.4	12,499	3.6 人に 1 人

出典：国立社会保障・人口問題研究所 男女・年齢(5 歳)階級別データ——『日本の地域別将来推計人口』(平成 30 年推計)

はぐくむ条例ってなに？

まちづくりを進めるための旗印となるものに、橋本市の自治と協働をはぐくむ条例(通称：はぐくむ条例)があります。和歌山県内で初めて策定された「自治基本条例」となっています。はぐくむ条例は市民の皆さんや行政などの、まちづくりの多様な担い手が同じ方向を向いて、それぞれの役割のもとでお互いに協力し合う「協働のまちづくり」を進めていく上で、基本となるものです。(詳細はこちら↑)



そのため、時代背景が変化していく中、条例が形だけのものになっていないかどうか、橋本市のまちづくりの推進に本当にふさわしいものかどうかを検証する必要があります。

そこで、市民や各種団体などで構成する「はぐくむ委員会」が設置されています。協働のまちづくりをより推進していくためにどのような取り組みが必要か、検証を進めています。



裏面にお得な情報

あなたにピッタリな取り組みがもうあるかも！

政策への参画

- パブリックコメントへの回答
- インターネット政策モニター制度への登録（満16歳以上）
- 都市計画マスタープラン策定に参画
- 市民公募による委員会参画
- 登録統計調査員への登録
- 市民と市長の「輝けはしもとトーク」（懇談会）

子ども、高齢者支援

- ファミリーサポートセンターの会員登録
- メンタルフレンド登録（原則、大学生）
- 学生スクールボランティアへの登録
- NPO団体 学習支援ボランティア

趣味を生かして、技術習得

- 手話奉仕員養成講座の受講
- 点字講習会、要約筆記講習会の受講
- 編み物ボランティア
- チョコボラ（お散歩ブタさんのパーツ作成）
- 真土万葉の里保全プロジェクト（ひまわりや菜の花の種まき等）
- 恋のチューリップ畑フォトコンテスト
- 橋本市高野口公園桜ウィーク Instagram フォトコンテスト
- 橋本市公式 Instagram #kakeru_hashi（橋本市の素敵スポット紹介）

その他

- 図書ボランティアへの登録
- 中学生ボランティアへの登録
- 共育コミュニティへの参加
- ウォーキングデーボランティアスタッフ
- サマーボール終了後のゴミ拾い
- 各区・自治会の防災訓練や大掃除など行事に参加
- 橋本市空家バンクを利用

※ 募集には期間設定されているものもあります。
※ これらの他にもたくさんの取り組みがあります。

ボランティアやNPO団体については保健福祉センター内の
◇社会福祉協議会ボランティアセンター
◇橋本市市民活動サポートセンター

が特にたくさんの情報をもっています。

知っていますか？お得な情報

陶磁器リサイクル市、かばん・おもちゃリユース市

持ち寄られたものを無料で持ち帰ることができるイベント。
橋本市広報誌で開催がお知らせされます。

家具やインテリア小物のリサイクル

隅田地区にある環境美化センター内リユースセンターで
無料で家具や陶磁器などが手に入るかも！

1回¥100のトレーニングジム

保健福祉センター内にあります。

（令和3年10月から¥200になります。）

子育て情報サイト「はぴもと」

公園情報やイベント情報、子育てサークルの紹介
など様々な情報がまとめられています。

生ごみ堆肥化（処理）容器の

無料貸し出しや購入補助

生ごみをたい肥にかけるとゴミも減るうえ、畑も肥えます。

保健福祉センターの足湯・遊戯室・屋根のある砂場

どれも無料です。駐車場も広く、ゆったりできます。

「まちづくり」ってなんだろう？

「まちづくり」には様々なカタチがあります。このまちの今や将来のためにできることは、特別な活動だけでなく、日々の生活の中にもあります。下の表を使って現状を振り返り、今すぐできることを探してみませんか？

まちづくりの参加例	現在の参加度	私の目標値との差
	（1～5、5が最大）	
ゴミの減量や適した処理の仕方		
市民サークルやクラブ活動への参加		
区・自治会活動への参加		
市が開催するイベントに参加		
市内で買い物		
市の基本情報を知っている		
近所の人や市内の人が困っていたら助けている		
観光客をもてなしている		
市内の役割を担っている（区長、PTA、消防団、委員会等）		
市内の人が喜ぶものを作っている、経験を提供している		
市内の人が作ったものを買っている、使っている		
市内の事業に投資、寄付している		
市の施設の利用		
市の施設を利用する時に大切に利用している		
市や市長への提案		
市内の事業の企画、実行		
選挙		
環境保全活動（ポイ捨てをしないことも含め）		
市内でボランティア		
（他にも思いつくものを書き足してください）		
合計（合計がいい目安になるのであれば計算しましょう。）		

*全てで満点の5を目指す必要はありません。誰かと競うものでもありません。自分の生活や性質を考慮して現実的な可能なもので十分です。

*私生活だけを考えるのではなく、市内で仕事をしている人は職場でのことも含め考えてみましょう。

*生活は日々変わるもの。「今年は受験だ！」や、「今は介護で忙しい。」「子どもが巣立って、余裕ができた。」だったり、いろいろな事情があるもの。定期的に見直してみてもいいがですか。

はぐくむ委員会・橋本市政策企画課 協働制作

問合せ先：

橋本市総合政策部政策企画課

TEL 0736-33-7117 FAX 0736-33-1665

E-mail: kikakhsy@city.hashimoto.lg.jp

令和3年8月発行